

## 芸術書ご担当様

新刊!

3月中旬 取次搬入予定

## ピアノ調律師の工具カバン

失われた音を求めて

アンジェロ・ファブリーニ 著 / ピエトロ・マリンコラ 構成・文 / 酒井陽子 訳



Angelo Fabbriniは知る人ぞ知るイタリアの調律師。“Fabbrini”の金文字は最高級ピアノの証。

スタインウェイの側面に、金文字で“Fabbrini”と書かれていたら、そのピアノはFabbrini氏が調律したピアノ、という意味。Fabbriniのピアノは近年一流ピアノがこぞって使うようになっており、今や“Fabbrini”の金文字は最高級ピアノの証とされる。アルゲリッチ、ツイメルマン、シフ、ルプー、バレンボイム、内田光子、キース・ジャレットも彼の仕事を絶賛してきた。1934年にイタリアで生まれた彼は、これまでピアノを愛する多くの人々と共に歩んできた。彼とミケランジェリとの絆は特に深い。数々のリサイタルやレコーディングだけでなく、プライベートでも親密な仲であった。ミケランジェリの没後、彼は思わぬものをプレゼントされることになる——70年以上にわたり、誰よりもピアノそしてピアニストに寄り添ったファブリーニだからこそ、見て聞くことができたエピソードが満載。貴重な図版も必見である。

プロフィール

## アンジェロ・ファブリーニ (Angelo Fabbrini)

1934年生まれ、イタリア人ピアノ調律師。“ファブリーニ・コレクション”と名付けた自らが厳選した世界の一流メーカーのピアノを使ったコンサートサービスを提供する。彼の“コレクション”のピアノはボリーニ、ミケランジェリ、シフ、ツイメルマン、アルゲリッチ等の名ピアニストによって世界の檜舞台で演奏されている。彼の卓越した技術の習得を熱望する日本をはじめ海外の技師に今も門戸を開いている。

訳者: 酒井 陽子 (サカイ ヨウコ)

大阪音楽大学短期大学部卒、ミラノ在住。シエナ外国人大学主催イタリア語学検定CILS4 レベルC2 及び同大学主催イタリア語教授法検定DITALS レベルII取得。ピアノ調律師ファブリーニ氏とも親交を持ち、今回の翻訳出版に至る。

目次

- プロローグ  
 第1話 プロになるまで: 地獄の音から天国の音へ  
 第2話 《Fabbrini》のロゴ入りピアノ、カーネギーホールに現る  
 第3話 やっかいなブランド: 「口うるさい」とまでは言わないが  
 第4話 ピアノのセレクトと仕上げ: 良くも悪くもフィーリング次第  
 第5話 工具カバンと旅行カバン: 溢れる情熱でいつでも準備万端  
 第6話 ピアノの弦: 時には指からとても遠く  
 第7話 調律に必要なもの: 技術とそれから?  
 第8話 開演前と本番: はりつめた弦のように  
 第9話 アルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリ:  
 お蔵入りになったプロジェクト  
 第10話 偉大なピアニストたちとの仕事: 私のマエストロたち  
 第11話 外伝: フィーリングの問題  
 第12話 失われたピアノを求めて

アンジェロ・ファブリーニへのインタビュー  
 (聞き手 ヴァレンティーナ・パーニ)

ご担当

様

(貴店名・帳合)

(注文)

新刊!

## ピアノ調律師の工具カバン

失われた音を求めて

アンジェロ・ファブリーニ 著 / ピエトロ・マリンコラ 構成・文 / 酒井陽子 訳

四六判・208頁 定価2,530円 (本体2,300円+税10%)

ISBN978-4-276-21008-0

→ ご注文: FAX 03-3235-2148

(株)音楽之友社 / 営業部 TEL 03-3235-2151